

**令和4年度
社会福祉法人寒川町社会福祉協議会事業報告**

I 組織の運営強化	
(1)法人運営事業	備考
①役員会・評議員会	
<p>【1 理事会（年4回）の開催】</p> <p>執行機関として事業運営の審議・決定を行い、円滑なる運営に努めるとともに、ガバナンスの強化を図りました。</p> <p style="padding-left: 2em;">5 / 25 ◇令和3年度事業報告及び決算報告他</p> <p style="padding-left: 2em;">10 / 14 ◇社会福祉功労者の顕彰他</p> <p style="padding-left: 2em;">1 / 25 ◇評議員選任候補者推薦の提案他</p> <p style="padding-left: 2em;">3 / 16 ◇令和5年度事業計画及び予算他</p> <p>【2 理事の分担による部会運営】</p> <p>『総務部会』</p> <p>法人の運営や財務、人事管理等の協議を行いました。月1回の部会を設けることにより、正副会長と事務局との共通認識を持つことが出来、組織として運営基盤の強化を図ることが出来ました。</p> <p style="padding-left: 2em;">4 / 7 ◇安全運転管理規程の一部改正について他</p> <p style="padding-left: 2em;">5 / 17 ◇理事会付議案件他</p> <p style="padding-left: 2em;">6 / 9 ◇各部会活動報告他</p> <p style="padding-left: 2em;">7 / 6 ◇県共同募金会会長感謝候補者の推薦他</p> <p style="padding-left: 2em;">8 / 4 ◇地域福祉活動推進団体登録制度実施要綱について他</p> <p style="padding-left: 2em;">9 / 1 ◇ふれあい福祉フェスティバルについて他</p> <p style="padding-left: 2em;">10 / 4 ◇理事会付議案件他</p> <p style="padding-left: 2em;">11 / 4 ◇社協福祉大会について他</p> <p style="padding-left: 2em;">12 / 8 ◇職員採用について他</p> <p style="padding-left: 2em;">1 / 12 ◇理事会付議案件他</p> <p style="padding-left: 2em;">2 / 2 ◇令和5年度補助金並びに受託金について他</p> <p style="padding-left: 2em;">3 / 2 ◇理事会付議案件他</p> <p>『地域福祉部会』</p> <p>広報・福祉教育、住民参加による福祉推進、ボランティアセンター、小地域福祉活動等に関する事業の状況を共有し意見交換をしています。自治会、民生委員、ボランティア、施設、議会という多方面からの選出の部会担当理事と状況の共有ができることで、新たな視点や検討事項を得ることができるとともに、理事と職員が身近に話すことができます。</p> <p style="padding-left: 2em;">5 / 18 ◇部会関連事業の報告と予定、部会の日程他</p> <p style="padding-left: 4em;">社協さむかわ174号、令和4年度の広報作成業者他</p>	<p>原則毎月第1木曜日に開催</p>

- 8 / 17 ◇部会関連事業の報告と予定、社協さむかわ175号について他
- 11 / 15 ◇部会関連事業の報告と予定、社協さむかわ176号について他
- 2 / 14 ◇部会関連事業の報告と予定、社協さむかわ176号について他

『生活支援部会』

相談事業や年末たすけあい募金配分検討等、地域援護事業の協議を行いました。

相談・貸付事業、日常生活自立支援事業・法人後見事業、在宅福祉サービス、地域包括支援センターに関する協議を行いました。

- 9 / 7 ◇生活支援事業の状況について、令和4年度年末たすけあい募金配分について他
- 1 / 25 ◇令和5年度年末たすけあい募金配分について他

【3 監事による監査(年2回)の開催】

業務執行や法人の財産状況について監査を行いました。

- 5 / 18 ◇令和3年度事業報告及び決算報告他
- 11 / 22 ◇令和4年度4月～9月会計及び業務執行の状況、監査他

【4 評議員会(年2回)の開催】

議決機関として理事の選任及び事業計画や予算等重要な事項の審議・決定のため、3回開催しました。

- 6 / 10 ◇令和3年度事業報告及び決算報告他
- 11 / 18 ◇令和4年度補正予算(第1号) <書面決議>
- 3 / 24 ◇令和5年度事業計画及び予算他

【5 評議員選任・解任委員会の開催】

理事会から評議員選任候補者の推薦を受け、評議員の選任を行いました。

- 6 / 3 ◇評議員の選任について<書面決議>
- 2 / 10 ◇評議員の選任について<書面決議>

② 事務局運営事業

【6 事務局の経理・総務・庶務等】

職員の採用

正規職員並びに契約職員の採用試験を行いました。

- 8 / 10 ◇地域包括支援センター契約職員採用試験(書類選考、面接)応募者1名 不採用

<p>10/19 ◇地域包括支援センター正規職員採用試験(筆記、面接) 応募者2名 採用1名→辞退</p> <p>12/9 ◇地域包括支援センター正規職員採用試験(筆記、面接) 応募者1名 採用1名</p> <p>2/1 ◇地域包括支援センター正規職員採用試験(筆記、面接) 応募者1名 不採用</p> <p>【7 各種委員会の開催】 規程見直し検討特別委員会 委員長と事務局との事前打合せを8回行い、委員会において規程の見直しを行いました。</p> <p>2/16 ◇職員就業規程の一部改正について</p> <p>3/2 ◇職員就業規程の一部改正について</p> <p>【8 苦情解決制度第三者委員の開催】 利用者からの苦情に対し、解決に向けた取り組みが出来るよう、第三者委員会を設置しました。 福祉サービス利用者等の権利擁護窓口</p> <p>4/1 ◇第三者委員の設置3名</p> <p>【9 各種事業、組織の見直し、あり方検討】 各種事業、組織の見直し、あり方検討について必要に応じて開催 毎月1回、職員幹部会の開催。</p>	
<p>③ 法人運営強化事業</p>	
<p>【10 一般会員の募集・加入促進(一般世帯等)】 自治会の協力を得ながら、一般会員会費納入の依頼と取りまとめを行い、事業を行う上での財源を確保しました。 自治会の協力による一般会員会費取りまとめ</p> <p>4/2～5/28 ◇職員が自治会の定例役員会等に出向き、会費納入依頼</p> <p>4/15 ◇各自治会に会費納入を依頼 (13,234世帯、9,889口、4,941,502円)</p> <p>【11 賛助会員の募集・加入促進(事業所・団体等)】 企業・団体等に賛助会員会費の納入を依頼しました。</p> <p>6/20 ◇企業、団体等へ依頼 (133企業、27団体、29個人 930,000円)</p> <p>【12 ITC及び個人情報のセキュリティ強化】</p>	<p><昨年度> 13,448世帯 10,211口 5,110,750円</p> <p><昨年度> 187社 995,000円</p>

セキュリティルームでの情報管理。
ホームページのリニューアル完了し、運用を始める。
定期的な共有パソコンのデータバックアップを行う。

【13 平時における災害時対応の強化】

町防災訓練への参加9/25開催中止。静岡県災害ボランティアセンターへの職員派遣申請を行うが派遣なし。

II 地域福祉推進事業

(1) 福祉啓発・教育事業

① 社協活動PR事業

【14 ホームページによる情報発信】

事業紹介やボランティア情報等随時更新し、情報提供を行いました。
社協情報、地域情報の提供
随 時 ◇行事・事業案内、ボランティア募集情報、
 災害情報、SNS（Twitter随時更新）

【15 TwitterなどSNSによる情報発信】

TwitterとLINEを活用してボランティアセンター情報の発信を随時行いました。

Twitterとホームページの更新は地域福祉、ボランティアセンター共に複数の職員による更新を可能とし、各事業の案内他発信し情報提供に努めました。

【16 メディアを活用した情報発信】

湘南さむかわラジオにて毎月1回（月の第4週の（火）11時30分～）放送。
放送日の時期に合わせた周知内容を事前に録音し録音データを提供。
タウンニュースへの情報提供。地域住民とタウンニュースの顔合わせ調整。
町広報にて社協関係団体の紹介記事を掲載。

② 広報紙発行事業

【17 広報紙「社協さむかわ」の発行】

発行月を4月、7月、10月、1月。
発行形態は、全8ページでフルカラー仕上げ。
1月号は福祉作文掲載と介護に関する入門的研修の掲載のため全16ページでフルカラー仕上げ。
174号～177号：各21, 250部発行（発行部数は増加傾向）
思いやりや支え合いの啓発、身近で役立つ福祉情報の発信を行うと共に、紙面を通して社協の理解促進に繋げました。

7 / 1 ◇第174号＝ボランティア体験会、おもちゃ病院、ホームページのリニューアル、フードバンクさむかわ、チャリティーきゃらばん人形劇、令和3年度賛助会員会費納

入者、催し物・相談等のご案内、令和3年度事業報告・決算、令和4年度事業計画・予算報告、あたたかい気持ち、町社協は協議体④寒川町福祉団体協議体、ボランティアセンターだより、地域包括支援センターだより、もっと身近に町社協④心配ごと相談、他

10 / 1 ◇第175号 = 共同募金運動、身近な公園で軽く体操しませんか、教育支援資金、フードバンクさむかわ、大人の祉作文 & 川柳作品募集、障害者週間、もっと身近に町社協⑤法人後見事業、催し物・相談等のご案内、寒川町ふれあい福祉フェスティバル、町社協福祉大会、あたたかい気持ち、一般会員費納入のお礼、ホームページリニューアル、町社協は協議体⑤寒川町議会、みんなの健康セミナー開催報告、ボランティアセンターだより、地域包括支援センターだより、他

1 / 1 ◇第176号 = 身近な公園で軽く体操しませんか、福祉有償運送のご紹介、会長新年のご挨拶、あたたかい気持ち、町社協は協議体⑥社会福祉施設、福祉大会開催報告、成年後見講座開催報告、催し物・相談等のご案内、介護に関する入門的研修、福祉作文について、ボランティアセンターだより、地域包括支援センターだより、もっと身近に町社協⑥善意のこころ事業、他

4 / 1 ◇第177号 = もっと知ってほしい！「寒川町社協」、講座・イベントの予定、催し物・相談等のご案内、会員加入と会費ご協力をお願い、共同募金運動の結果とお礼、あたたかい気持ち、ボランティアセンターだより、地域包括支援センターだより、他

③ 福祉大会事業

【18第39回福祉大会】（健康管理センター）
 地域福祉の発展に永年貢献された方々の功績を讃え、その経験と知識を今後の地域福祉の推進に活かす契機としました。今年度も感染拡大防止を図るため、規模を縮小し開催しましたが、過去最高の639編の福祉作文応募編数の中から優秀作文の発表を行い、教育長に総評をいただきました。

12 / 3 ◇表彰式及び作文発表
 ・社会福祉功労者、介護者、多額寄附者の表彰・感謝、
 県社協会長表彰の伝達等

<昨年度>
 49名

	<p>20名、3団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉作文（優秀作文）の表彰 35名 ・優秀作文の発表 小学生2編（会場） 中学生2編（会場及びビデオ上映） <p>参加者83名</p>	
<p>④ ふれあい福祉フェスティバル事業</p>		
	<p>【19 第13回ふれあい福祉フェスティバルの開催】 （寒川町後援、さむかわ中央公園）</p> <p>誰もが気軽に集い、地域の中で繋がりが生まれ、福祉への関心と理解、自らが地域の一員として関わっていく事業の開催を予定していました。企画運営委員会にて検討した結果、コロナ禍による感染症予防のため中止としました。参加団体出店者会議にて、今年度中止になった経緯の説明と来年度の開催方法の意見交換を行いました。</p> <p>交流の場、つながりの場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 8/2 ◇第1回企画運営委員会 8/8 ◇第2回企画運営委員会 8/16 ◇第3回企画運営委員会 9/6 ◇第1回参加団体出店者会議 11/24 ◇第4回企画運営委員会 <p>【20 第13回ふれあい福祉フェスティバル出店】 10 / 8 ◇第13回寒川町ふれあい福祉フェスティバル （さむかわ中央公園）＝ポップコーン出店予定 コロナ禍感染予防のため開催中止</p>	<p><昨年度> 中止</p> <p><昨年度> 中止</p>
<p>⑤ 産業まつり出店事業</p>		
	<p>【21 第38回寒川町産業まつり出店】（さむかわ中央公園）</p> <p>産業関係のまつりとするとのことで出店しませんでした。</p>	<p><昨年度> 中止</p>
<p>⑥ 福祉教育事業</p>		
	<p>【22 小中学校福祉協力校の連携による福祉の学び取り組み支援】</p> <p>各学校への助成と併せて取り組まれる福祉教育活動への協力・調整も行い、次世代を担う児童・生徒の福祉の心、思いやりやすけあいの心を育みました。</p> <p>取り組みの際には各学校と複数回の打ち合わせにより、学校の取組み意識を確認し、目標を設定しました。</p> <p>コロナ禍の感染症予防のため慎重に準備を重ね、取り組みました。</p> <p>◇寒川小学校4年生</p>	<p><昨年度> 町内全8校</p>

- 10 / 11 点字体験
- 10 / 26 耳の不自由な方のお話、手話体験
- 11 / 22 車いすバスケ
- 11 / 28 目の不自由な方のお話

◇一之宮小学校4 学年

- 12 / 5 車いすバスケ

◇旭小学校

「福祉について理解を深める学習」

話し合う、体験する、調べる、まとめる、発表する

◇小谷小学校4 学年

- 10 / 25 点字体験
- 11 / 15 目の不自由な方のお話
- 11 / 29 耳の不自由な方のお話、手話体験
車いす体験 教員への指導・貸出

◇南小学校5 学年

- 10 / 19 耳の不自由な方のお話、手話体験
- 11 / 1 ユニバーサルデザインダンス
- 11 / 8 視覚障がい者誘導體験

◇寒川中学校 1 年生、2 年生、7 組

- 11 / 7 多様性のある社会に向けて～L G B T Q 講演会～
講師を招いての講演会

◇旭が丘中学校

- 6 / 7 高齢者疑似体験 教員へ指導
- 6 / 15 ※高齢者疑似体験（学校内での取組み）
 - 1月 福祉について知ろう、身近にある福祉を学ぼう
 - 2月 自分ができる福祉について考えよう、福祉劇
 - 3月 寒川町シニアクラブ連合会とスポーツ交流会

◇寒川東中学校

- 2月 いのちの授業 3 年生
「福祉について学ぶ時間」 1 年生

【23 地域における福祉体験の場づくり(地域講座)】

地域において福祉に関する講座、福祉の普及啓発と社協PRを行いました。

- 7 / 13 ◇北部民協での権利擁護講座（日生、成年後見）
- 10 / 19 ◇ボランティア体験講座「社協とは」
- 全7回 ◇寒川町シニアクラブ連合会の会長会ほか単位クラブの会場場所へ出向き、高齢者向けの社協事業のご紹介や体操、悪質商法に巻き込まれないため学び合いを行った。
- 2 / 22 ◇寒川町青少年問題協議会主催の研修「ヤングケラーについて」において、県社協からの実態説明と町社協からの情報提供

⑦ 福祉作文事業

【24 福祉作文募集、審査会、福祉作文集作成】

福祉について考えるきっかけづくりとして小・中学校を対象に福祉作文の募集を行いました。令和2年度はコロナウイルス感染拡大に伴いコンクールが中止になったことが関係してか、令和3年度に再開したコンクールでは応募総数は356編と令和元年度以前に比べて少なくなりましたが、今年度の応募総数は639編と過去最多ともいえる編数となりました。

作文の内容には本会で取り組んでいる福祉体験（福祉を育む学び）に関連したものも多く、子どもの頃から福祉に触れる、体験する、考える、またそれを表現する機会として福祉作文が役割を果たしています。

優秀作文は福祉作文集としてまとめ、福祉大会来場者全員に配布、また健康管理センターで作文集を配架し福祉作文の紹介の掲示物とあわせて来館者向けに周知することによって多くの方に福祉作文集を知っていただけるよう努めています。

5月 ◇教頭会で挨拶および今後の依頼を周知

7月 ◇各小・中学校へ依頼

9月 ◇各小・中学校からの応募受付

応募総数 639編

小学生 274編、中学生 365編

◇本会職員による1次審査

審査委員による2次審査

◇福祉作文審査会＝優秀作文、福祉大会発表及び広報誌掲載作文2編と県福祉作文コンクール地区審査用作文5編を小学生の部・中学生の部からともに選定

◇県福祉作文コンクールへ応募

◇福祉作文集（優秀作文）の作成 400部

福祉大会での配布、以降は健康管理センターでの配架を継続。持ち帰る方が多く、補充を複数回行った。

保管分を残し配りきることができた。

12月 ◇福祉大会にて審査会で選ばれた児童・生徒の作文発表
当日欠席予定の場合は、事前にビデオ撮影を行いました。

◇応募者へ記念品の配布

<昨年度>

小学生
161編、
中学生
195編

応募総数
356編

【25 大人の福祉作文】

今年は作文と川柳を募集しました。川柳については作品応募のほか、電話での問い合わせもあり、関心をもっていただきました。

10月◇社協さむかわにて募集記事掲載

◇応募総数 作文1編、川柳2句

⑧ 専門職人材育成事業

【26 社会福祉士養成のための相談援助実習受入れ】

社会福祉士を志す学生の相談援助実習を受け入れいることで福祉人材の育成に貢献。

原則、24日間、180時間以上の受け入れ。

8/2～ ◇関東学院大学3年 1名

<昨年度>

2名

【27 職員の研修への参加】

県社協や行政等からの研修案内を受け、各担当ごと必要に応じ研修を受講している。

5/23 ◇令和4年度社協新任職員研修会 1日目 (ZOOM)

6/17 ◇令和4年度社協新任職員研修会 2日目 (県社会福祉センター)

7/13 ◇令和4年度社協新任職員研修会 3日目 (フィールドワーク)

8/23 ◇令和4年度社協新任職員研修会 4日目 (県民センター)

2/7 ◇令和4年度社協新任職員研修会 5日目 (県中小企業共済会館)

5/24～ ◇令和4年度日常生活自立支援事業初任者研修 (動画)

6/22～ ◇令和4年度法人後見担当者基礎研修～成年後見制度の概要と法人後見について～

6/29～ ◇日常生活自立支援事業初任者・現任者研修

～日常生活自立支援事業に関連する事業・相談機関について～

6/27～ ◇全国福祉教育推進員研修

6/27～ ◇生活福祉資金新任担当者・相談員研修会 (ZOOM)

8/31 →動画、事前課題、8/3会場研修

10/24他2回 ◇社協組織マネジメント研修①②③

10/27 ◇生活福祉資金 (教育支援資金) 関連業務研修会 (オンライン)

1/13～ ◇令和4年度法人後見担当者現任研修 (動画) ～本人死亡後の対応～

1/18他2回 ◇社協組織マネジメント研修④⑤⑥

2/24～ ◇日常生活自立支援事業管理監督者研修・現任者研修 (動画)

～日常生活自立支援事業の不適切事案を発生させない体制づくり～

3/6～ ◇成年後見制度利用促進・地域連携ネットワークフォーラム (動画)

「本人を中心とした包括的な支援体制の構築と地域連携ネットワークをめざして」～意思決定支援による地域社会への参加の実現～

【介護に関する入門的研修】

県社協より受託し、町内介護人材の確保を目的に研修を開催しました。
 基礎講座(3時間)募集100人、申込者数72人 修了者数66人
 講師 寒川ホーム副施設長 今村 真 他
 入門講座(23時間)募集20人、申込者数19人修了者数12人
 講師 寒川ホーム副施設長 今村 真
 さむかわ基幹相談支援センター 山田 大悟
 寒川町認知症地域支援推進員 桜井 愛美
 寒川町社会福祉協議会 浅野 瑠水 他

(2) 地域福祉活動事業

① 地域共生社会推進事業

【28自治会・民生委員児童委員・シニアクラブ連合会・学校・地域団体・町内企業等との連携、情報交換、課題把握等】

団体の定例会等への参加や学校での福祉を育む学び、地域団体との情報交換、賛助会員企業や寄付を通じての企業とのつながり等、接点のあるごとに、本会の取り組みのご説明や協力依頼等、連携を図りました。

また、新たに「地域福祉活動推進団体登録制度実施要綱」をつくり、今後の社協のネットワーク拡大と事業での連携等につなげていきます。

1月～ ◇地域福祉活動推進団体登録制度の説明を開始

- 自治会：寒川町自治会長連絡協議会定例会において、会費や募金のご依頼、講座のチラシ回覧のご依頼等。
- 民生委員児童委員：寒川町民生委員児童委員協議会役員会、定例会、地区民協に毎月職員を派遣して連携強化を図った。社協事業のご説明、事業への協力ご依頼。貸付業務において借受者の地区担当民生委員と情報共有、見守り活動のご依頼等。
- シニアクラブ連合会：会長会、健康体操、単位クラブに伺ってのご説明や情報共有等。また高齢者向けの取り組みの協力依頼の相談も複数あり。
- 学校：福祉を育む学びのために教職員やサポーターとの情報共有、協力等。教頭会へ出向き社協事業の説明報告。
- 町内企業等：ご寄付を地域へつなぐ、企業で認知症サポーター養成講座を受講して下さる等。
- 寒川町議会
社協さむかわ10月号掲載。

【29地域福祉フォーラムの開催】

地域の福祉的課題に取り組む人材を育成することで、誰もが住み慣れた地域で安心して生活することができる、つながりある地域づくりの推進に資することを目的に開催しています。

今年度はテーマ別で開催しました。

<昨年度>
中止

5 / 27

◇子ども食堂の懇談会

町内4ヶ所の子ども食堂から10名が参加

【30寒川町福祉団体協議会等の活動支援等】

障がい当事者団体である寒川町福祉団体協議会の活動支援を行いました。
また、町補助金の支援を受けるための書類の確認や町福祉課職員との対応、連絡調整を行いました。

詳細は関係団体事務事業報告に記載。

【31町内社会福祉法人等の連携】

社会福祉法人との連携による地域事業を行いました。

介護に関する入門的研修の講師を依頼し、法人との連携を図った。

日産工機労働組合とのつながりから3つのイベントに協力

4月 ◇チャリティーきゃらばん人形劇

子育てセンター、児童発達支援事業所と連携し、子どもたちが人形劇を鑑賞した。

11月 ◇ナイスハート・ふれあいのスポーツ広場

障がいのある方と利用先の事業所・団体・学校のスタッフさんに参加を呼びかけレクリエーションを楽しんだ。

12月 ◇クリスマスチャリティー 演劇鑑賞会

② 生活支援コーディネーター事業

【32生活支援コーディネーター活動周知】

毎月1回 ◇岡田もくせいハイツ自治会 組長会議 参加

毎月1回 ◇県営寒川もくせいハイツ第二自治会 定例幹事会 参加

随時 ◇寒川町シニアクラブ連合会の会合、研修等 参加

随時 ◇小地域福祉活動等の通いの場など 参加

随時 ◇PRできる場面があれば紹介をしている。

【33社会資源開発業務】

毎月1回 ◇岡田もくせいハイツ自治会 組長会議 参加

毎月1回 ◇県営寒川もくせいハイツ第二自治会 定例幹事会 参加

毎月1回 ◇地域ケア会議（個別会議）参加

毎月1回 ◇一体的実施 担当者会議 参加

随時 ◇各種社協事業の運営の中で資源開発についての視点をふまえている。

11月 ◇11月中の月曜日から金曜日まで、町内の公園で
～12月 気軽な体操の場を開始した。住民による自主活動に

1月、2月は寒
さ対策で休み
3月～再開
(通いの場) 移行していくことが目標。
月曜日：さいど公園(倉見)
火曜日：信玄芝原公園(宮山)
水曜日：越公園(岡田)
木曜日：一之宮公園(一之宮)
金曜日：矢島公園(田端)
時間は午前9時～9時30分
体操はラジオ体操第・第2、さむかわwakuwaku体操
2月 ◇シニア向けのスマホ教室の情報収集のため、
松田町社協、大井町社協に視察を行った。

【34 ネットワークの構築業務】

月1回～
および
随時 ◇町の保険年金課、高齢介護課、健康スポーツ課が一体
となって取り組む「高齢者の保健事業と介護予防の一
体的実施」の担当者会議に出席。

高齢者に広く普及啓発ができる場(ポピュレーション
アプローチ)をつくっていくために、サロン(通いの場)
の情報共有や、見学や説明等が可能な通いの場を調整し、
現場での話し合いにも立ち会う等、役場と住民のネット
ワーク構築の調整を支援。

随時 チームオレンジ(認知症支援のネットワーク)の取り組み
に参画し、認知症を地域で支え合うための支援者どうし
のつなぎ等を行っています。

月1回◇地域ケア会議(個別会議)出席

事例を通じ、高齢者の生活ニーズ等に対して、既存の
もの、新規の必要性など、関係者とのネットワークを
構築しながら、情報を共有、協議している。

随時 ◇町内不動産屋から、管理している賃貸アパートに住む
高齢者の状況等で相談を受ける。包括と連携。

【35 コーディネート業務】

随時 ◇社協業務を通じ、各種のつなぎを行っている。
特に情報提供は、電話や会合・活動への参加等、
住民の意見や相談も聞き取りができるようにして
動いている。

【36 介護予防を兼ねた地域交流事業支援】

随時 ◇通いの場を通じた介護予防、地域住民の交流をコロナ禍
でどのように行うことができるのか、運営にあたる皆さんと
情報交換をしながら、住民の意向に沿う形での後押しをしている。

随時 ◇町役場高齢介護課担当職員との打ち合わせ

- 7 / 29 ◇第1回寒川町生活支援・介護予防サービス基盤整備推進会議
開催中止（コロナの影響による）
- 3 / 23 ◇第1回寒川町生活支援・介護予防サービス基盤整備推進会議
生活支援コーディネーターの取り組み全般を報告し、
今後に向けての協議、情報交換等を行った。

③ 小地域福祉活動事業

<p>【37 地域福祉推進を目的とした、集いの場活動支援】</p> <p>自治会における小地域サロンや見守り、交流といった福祉活動に対し、調整や運営の相談、助成金の交付等を実施したことで、地域での支え合いが促進され、住民が安心して暮らせる福祉コミュニティーづくりを進めることが出来ました。</p> <p>なお、活動支援のため、助成金を交付していますが、コロナ対策の支出も可とし、活動の中止に伴う繰越金は次年度での活用をお願いしました。</p> <p>◇活動助成 = (13地域14自治会 助成額690,000円) 新町自治会、岡田東西自治会、田端自治会、 中瀬自治会、大蔵自治会、菅谷台自治会、 小谷自治会、一之宮ソフィア自治会 倉見自治会、大曲自治会、新橋アパート自治会 小動自治会、一之宮北自治会</p> <p>日ごろの活動に協力しました。</p> <p>【小谷パーククラブ】 映画会の上映のお手伝い。機材貸し出しを含む。</p> <p>5 / 19 ◇映画上映会（小谷パーククラブ） 8 / 18 ◇映画上映会（小谷パーククラブ） 11 / 17 ◇映画上映会（小谷パーククラブ） 1 / 19 ◇映画上映会（小谷パーククラブ）</p> <p>【新町ミニサロン】 映画会のための機材貸し出し 6月28日、11月22日、3月14日</p> <p>全4回 ◇さむかわクリーナーズ※の活動支援 ※生活保護受給世帯による地域貢献活動。町内の ゴミ拾い等、美化活動を中心に行っている。 集合・解散・情報交換用の部屋、ゴミ拾い用のトング、 ユニフォーム（ビブス）貸し出し等。</p> <p>【38 地域福祉推進を目的とした、集いの場立ち上げ支援】</p> <p>11月～ ◇閉院した五島クリニックの看護師より相談を受ける。</p>	<p><昨年度> 15地域 18自治会 700,000円</p>
--	--

	<p>旧五島クリニックを開催場所にした居場所づくり 「おしゃべりできる場所」として開放予定。 令和5年4月から第3金曜日に「しゃべる一む」 という名称で開放予定。</p> <p>12月～ ◇寒川キリスト教会より相談を受ける。 令和5年6月から介護予防の体操の場を開催予定。 また、子ども食堂の開催も検討中。</p> <p>12月～ ◇町内在住の女性から相談を受ける。 サロンを開きたい。 子ども食堂の見学から始めている。</p>	
--	--	--

④ サロン事業

	<p>【39ふれあい・いきいきサロンの開催】 ボランティアの協力を得ながら、遊びや学びの場の提供を行いました。 月1回開催している子育てサロンは、季節に合わせた遊びを中心に 歌や読み聞かせや手遊びを織り交ぜてプログラムを考えています。 障がい児者サロンは、春と秋の年2回、ボウリングやビンゴ、工作 など障害のある方が家族やボランティアと一緒に楽しめる内容を 企画しています。</p> <p>・子育てサロン（2～3才児対象の親子向けのサロン。体操、歌、 手遊び、工作など。親子同士の交流と仲間づくり。 ）</p>	
	<p>4 / 20 ◇手形・こいのぼり工作 ボランティア 10名 利用者 7組 15人</p> <p>5 / 18 ◇ミニ運動会 ボランティア 8名 利用者 12組 26人</p> <p>6 / 22 ◇七夕飾り作り ボランティア 10名 利用者 8組 16人</p> <p>7 / 13 ◇小麦ねんどあそび ボランティア 9名 利用者 8組 17人</p> <p>8 / 17 ◇夏祭りあそび ボランティア 8名 利用者 10組 27人</p> <p>9 / 28 ◇運動会 ボランティア 11名 利用者 8組 17人</p> <p>10 / 19 ◇交通安全とハロウィンあそび ボランティア 9名 利用者 12組 24人</p> <p>11 / 16 ◇人形劇とリトミック ボランティア 9名 利用者 13組 27人</p> <p>12 / 21 ◇クリスマス会 ボランティア 11名 利用者 26組 49人</p>	<p><昨年度> 利用者 14組 ボラ 14名 利用者 15組 ボラ 10名 利用者 16組 ボラ 8名 利用者 15組 ボラ 8名 利用者 5組 ボラ 0名 利用者 5組 ボラ 0名 利用者 20組 ボラ 11名 利用者 11組 ボラ 13名 利用者 23組 ボラ 14名</p>

1 / 2 5	◇お正月あそび ボランティア 11名 利用者 9組 18人	感染拡大のため 中止
2 / 1 5	◇ひな飾りづくりとリトミック ボランティア 13名 利用者 13組 26人	感染拡大のため 中止
3 / 1 5	◇思い出作品づくりと修了式 ボランティア 14名 利用者 15組 32人	利用者 10組 ボラ 5名
	合計 利用者141組 294名 ボランティア112名	
	・障がい児者サロン(障がいのある方とその家族対象のサロン)	
1 1 / 6	◇秋・ボウリング大会 障がい児者・家族 20名 (うちプレイなし 4名) ボランティア 6名	<昨年度> 14名 8名
3 / 2 6	◇春・ハンドベル体験 障がい児者・家族 12名 ボランティア 4名	<昨年度> 12名 6名
⑤ 地域活動応援事業		
	【40 募金関係活動費の交付】 各自治会の共同募金活動にあたり、活動費を交付しました。 10 / 7 ◇各自治会(21自治会)へ交付 (昨年度募金実績額×5%) 283,700円	<昨年度> 285,900円 (昨年度募金 実績額×5%)
	【41 地域福祉推進に取り組む団体、活動に対する助成】 地域福祉推進のため住民の主体的な福祉活動に対して、活動経費を助成することで活動を支援しました。 地域福祉活動推進のための活動経費助成金 ●住民による主体的な地域福祉推進のための活動 ボランティアグループ等へ ◇14団体へ 合計602,000円を交付	<昨年度> 14団体 600,000円
	●自治会による福祉活動 自治会による小地域福祉活動へ ◇14自治会へ 合計690,000円を交付	<昨年度> 18自治会 700,000円
	●町内小中学校による福祉活動 福祉を育む学びのために町内の全小中学校へ ◇町内全小中学校へ 合計133,000円を交付 (20,000円×5校、13,000円×1校) ※コロナ禍でプログラムの中止もあり、助成金の	<昨年度> 8校 155,000円

繰り越し等、変則の対応あり。

●障がい者等の当事者団体による福祉活動

寒川町福祉団体協議会の4団体および障がい者スポーツの団体へ

◇4団体へ

合計72,000円を交付

<昨年度>

5団体

100,000円

【4.2 食品等の寄付を通じた地域活動支援】

コロナ禍により、食品を支援する必要性に迫られ、1階の社協事務所脇で食品支援を行ってきたが、令和4年7月より、毎月第1土曜日にイベント的な形の「フードバンクさむかわ」を開始。

食をつなぎ人をつなぐ、寒川町ならではのフードバンクを目指し、食品を寄付して下さる個人や団体さん、運営を手伝って下さるボランティアさん、様々な力の出し合いで運営している。

月1回 毎月第1土曜日 午前10時～12時 町健康管理センター
ボランティアによる運営（社協はセンター管理や確認事項の連絡等）

昨年、「寒川町にフードバンクをつくろう」情報交換会に参加してくれた方に加えて、新たなボランティアも増えている。

回を重ねるごとに、食品の受け取り希望世帯が増えている。

受け取りは町内在住の世帯のみ。

平日 社協事務所の開所時間内

お米を炊ける世帯には米2キロ1袋

お米を炊けない世帯には、そのまま食べられるレトルトパックのおかず5袋

今後、ボランティアによる住民主体の自主運営への移行、定期的な食品の寄付ルートの開拓（町内の店舗等）、食品管理に適した場所（拠点）の新たな確保等を進める予定。

（平日の食品支援はお米もしくはレトルトのおかずのみに縮小。

その範囲で足りない人は必要な相談機関へつなぐことを優先）

【4.3 各種関係団体等の事業後援】（県社協関係を除く）

各種関係団体等より依頼を受け、本会の名義使用による後援を行いました。

6/22～10/30 ◇フィエスタ 翔 2022

7/1～11/13 ◇第48回 精神保健福祉「県民の集い」

7/6～12/2 ◇らららライブ2022

7/28～2/3 ◇第24回 翔の会表現展「湘南地 アート"たび"」

7/28～12/17 ◇バリアフリー上映会「友達やめた。」

8/17～11/23 ◇令和4年度 里親講座(湘南地区)

9/12～10/23 ◇第45回 住宅デー

10/11～11/21 ◇2022年ナイスハートふれあいのスポーツ広場 寒川大会

<昨年度>

4件

3/7～5/27 ◇寒川町福祉活動センターまつり
3/7～6/10 ◇社会福祉法人 翔の会 講演会 チャリティー映画会

【4 4 物品の貸出及びメンテナンス】

福祉活動に役立つための備品を団体等に貸し出し、福祉の推進を図りました。

随 時 ◇8 2 件
＜貸出物品＞車いす、ビデオプロジェクター一式、テント（大・小）、スクリーン、DVDプレーヤー、ポップコーン機、音響機材、募金箱、延長コード他

【4 5 印刷機の利用】

印刷機利用料収入
合計 235,667円

<昨年度>

31件

<昨年度>

163,702円

⑥ 善意のこころ事業

【4 6 寄附金品の受け入れ及び事業活用】

団体、個人の方からの寄附金品を受け入れ、各種事業に活用しました。

随 時 ◇金員 21件 計1,444,493円
◇物品 9件
(商品券、切手、アルファ米、消毒用スプレー等)

【4 7 小さな善意募金箱の設置・管理】

募金箱を設置すると共に団体等に貸し出し、善意の受け入れの啓発に努めました。

随 時 ◇設置24箇所 計34,734円
◇貸出し なし

【4 8 募金箱の設置・貸出し・管理】

産業まつり等で団体へ募金箱の貸し出し なし

【4 9 不要入れ歯・アクセサリ回収ボックスの設置】

随 時 ◇町内歯科医院13箇所、健康管理センター1階
計 16,054円

【5 0 ハガキ（書き損じ・未使用）寄附ボックスの設置】

随 時 ◇健康管理センター1階 計 8,371円
(郵便局で全て切手に換金)

<昨年度>

金員20件
809,568円
物品29件

<昨年度>

設置25箇所
44,346円

<昨年度>

なし

<昨年度>

14箇所
30,895円

2,673円

<p>【5 1 マックスバリュ黄色いレシートボックスの設置】</p> <p>マックスバリュ寒川中瀬店で実施される毎月11日黄色いレシートキャンペーンに参加し、啓発及びギフトカードを受領。</p> <p>◇2022年度上半期 (2022年3月～2022月8月)</p> <p>黄色いレシート投函総数金額 (期間合計) 396,101円 黄色いレシート投函金額の1% (受領金額) 4,000円</p> <p>◇2022下半期 (2022年9月～2023月2月)</p> <p>黄色いレシート投函総数金額 (期間合計) 368,517円 黄色いレシート投函金額の1% (受領金額) 3,700円 計7,700円</p>	<p><昨年度> 12,100円</p>
--	--------------------------------

⑦ 地域福祉活動計画推進事業

<p>【5 2 「みんなの地域福祉つながりプラン」第5次地域福祉活動計画の推進】</p> <p>町の第4次地域福祉計画と一体的に策定した「みんなのつながりプラン」の推進を図りました。</p> <p>9 / 2 2 ◇第1回寒川町地域福祉計画推進会議 書面会議</p> <p>【5 3 社協発展強化計画の推進】</p> <p>随 時 ◇社協協会発展計画2年目</p>	
--	--

(3) 地域援護事業

① 相談事業

<p>【5 4 心配ごと相談・相談支援の充実】</p> <p>気軽に相談できる町民のよろず相談窓口として開設し、悩みの抱え込み防止と共に福祉の推進を図りました。</p> <p>長引くコロナ禍の影響か、精神的に不安定な方から何度も来る電話や税金の滞納に対応する町役場・収納課から町社協を紹介され、相談を希望されたケースがありました。</p> <p>8月1日からは、新たに、心配ごと相談専用ダイヤルとして、専用の電話番号の使用を開始しました。</p> <p>随 時 ◇心配ごと相談 (職員対応、健康管理センター) 17件</p> <p>ケースカンファレンス 職員が抱えている個別ケースを出し合い、法人としての関わり方を共有し、支援の方針を探りました。</p> <p>◇随時</p>	
---	--

③ 一時的支援事業

	<p>【55 法外援護】 行路者に対し交通費又は食費の貸し付けました。 随 時 ◇法外援護（行路者交通費等の支給） 2件</p>	<昨年度> 2件
④ 車いす貸出事業		
	<p>【56 車いすの貸与及びメンテナンス】 車いすを貸し出し（1ヵ月目安）、利用者の生活利便を図りました。 随 時 ◇歩行困難者等 83件</p>	<昨年度> 75件
⑤ 紙おむつ代助成事業		
	<p>【57 在宅障がい児者紙おむつ代助成】 紙おむつ代を助成することにより、世帯の経済的負担の軽減を図りました。 随 時 ◇在宅心身障がい児者 27名 80件</p> <p>【58 在宅高齢者紙おむつ代助成】 紙おむつ代を助成することにより、世帯の経済的負担の軽減を図りました。 随 時 ◇在宅寝たきり高齢者 80名 212件（R4年度第1期分）</p>	<昨年度> 37名 106件 <昨年度> 61名 165件
⑥ リ災者援護事業		
	<p>【59 災害見舞金の支給】（見舞金は県共同募金会と折半） 火災など災害に遭われた方に対して見舞金を支給しました。 随 時 ◇0件</p>	<昨年度> 2件
⑦ 年末たすけあい配分金事業		
	<p>【60 年末たすけあい募金の配分】 共同募金会が行った年末たすけあい募金を各種支援事業として配分しました。配分方法の決定は生活支援部会で協議、理事会で決定しました。 今年度の配分先 ※配分は全て寒川町の住民へ 町内障がい児者紙おむつ代助成 町内障がい当事者団体への行事支援 ひとり親家庭等へ お米を配布 9 / 7 ◇生活支援部会にて、令和4年度の年末たすけあい募金の配分計画について確認 9 / 16 ◇自治連にて、共同募金運動・年末たすけあい募金のご協力依頼 10 / 4 ◇総務部会にて 令和4年度年末たすけあい募金配分計画を確認し、理事会案件として決定 10 / 14 ◇理事会にて</p>	

令和4年度年末たすけあい募金配分計画を確認	
12月～ ◇順次、配分を開始 予定	<昨年度>
●町内障がい児者紙おむつ代助成 344,076円	438,378円
●町内障がい当事者団体への行事支援 (寒川町福祉団体協議会へ) 132,000円	160,130円
●ひとり親家庭等へ お米を配布 668,808円	災害時対応
●地域福祉推進事業 1,684,538円	1,792,592円
1/20 ◇自治連にて年末たすけあい募金の結果とお礼	フードバンク
1/25 ◇生活支援部会にて 令和5年度年末たすけあい募金配分についてご提案	108,900円 地域福祉推進事業
3/16 ◇理事会にて令和5年度年末たすけあい募金配分の 方向性について承認	509,300円

⑧ 生活福祉資金貸付事業

【6.1 生活福祉資金の相談・貸付】

生活福祉資金は、低所得者、障がい者または高齢者に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進、並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることが目的の資金です。

令和2年3月下旬に開始した生活福祉資金のコロナ特例貸付は、令和4年9月30日で受付が終了しました。償還については専用の窓口が対応するものの、やはり、町社協で借入れ申し込みをしているため、償還や償還免除、猶予に関する相談も断続的にあります。

- コロナ特例貸付 130件 4,395万円の借入申込み
- コロナ特例貸付 令和2年3月23日～令和4年9月30日 全体状況
- 借入申込み件数
- ・緊急小口資金 601件
- ・総合支援資金 745件 計1,346件
- 借入申込み総額 5億1,257万円
- 通常貸付 11件 →福祉資金5件、教育支援資金 6件
- 貸付関係全体の対応状況
- 電話、来所、訪問等全ての相談対応件数 1355件※
- ※下記、【6.3 緊急援護資金の相談・貸付】の件数も含む。

<昨年度>
コロナ特例貸付
734件
2億6400万円
通常貸付
7件

【6.2 生活困窮者自立支援事業に係る県社協等との相談・連携】

県社協が実施している神奈川県生活困窮者自立相談支援事業「ほっとステーション」へ相談者との面接において相談室貸出しの調整、情報共有を行いました。

コロナ特例総合支援資金の延長貸付において、相談室の貸し出し、相談者との調整、案内、支援を行いました。

5月～ ◇生活困窮者支援体制を構築するためのプラットフォーム整備事業の打合せおよび検討会に参画しました。全8回
また、神奈川県新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金を活用しました。
500,000円×2ヶ所
(しゃべる一む、フードバンクさむかわ)

●町事業 生理用品の無償配布に協力
令和3年8月から開始した町事業に継続的に対応しました。
配布個数を日々記録し、定期的に町役場町民窓口課に報告。

⑨ 緊急援護資金貸付事業

【63 緊急援護資金の相談・貸付】

一時的に生活費に困窮している世帯へ、資金の貸し付けと相談支援を行い世帯の自立を促進しました。

貸付件数には、生活保護の申請後、初回支給日までの生活費の貸付もありますが、その場合は生活保護の担当ケースワーカーから意見書が提出され、生活保護の初回支給日に同席し一括で返済してもらいます。

また償還指導として、滞納世帯への家庭訪問や督促状の発送等を行い、世帯の状況把握、指導に努めました。

随 時 ◇貸付 19件

<昨年度>
貸付26件

(4) あんしんサービス事業 (権利擁護事業)

① 日常生活自立支援事業

【64 日常生活に向けた相談・支援、サービス提供等】

サービス提供・訪問活動

安心して自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき専門員及び生活支援員による福祉サービス利用援助、金銭管理等の支援を行いました。

随 時 ◇利用者 (契約者) 18名 (3月末)
(解約者) 4名

解約者も含めた内訳

認知症高齢者等15名、精神障がい4名、
知的障がい者2名、その他1名

◇定期支援回数 233回

専門員 53回

生活支援員 180回

<昨年度>
利用者
14名
定期支援回数
201回

(専門員)

14回

(生活支援員)

	<p>◇定期支援以外の臨時支援、相談援助、新規相談等 対応 440回 (訪問、電話、メール、来所等)</p> <p>◇契約前対応対象者 20名 (認知症高齢者6名、知的障がい者3名 精神障がい者6名、身体障がい者3名、その他2名)</p> <p>担当者会議 新規契約、支援計画変更、契約終了、契約更新等の際に、必要に応じて 随時開催する形をとりました。</p> <p>また、日常生活自立支援事業だけでなく、法人後見事業に関わる内容に ついても、必要に応じ会議の中で共有、協議しました。</p> <p>事務局長、担当職員、専門員2名の計4名で行いました。</p> <p>県社協 契約締結審査会 上記、担当者会議において、県社協での審査・助言等を必要とするケース と判断したものについては、専門員が県社協へ出向き審査会に出席・説明 しました。</p> <p>日常生活自立支援事業実施社協連絡会へ出席 県内の社協間で事業の取り組み状況の共有と報告、意見交換等のため開催 される実施社協連絡会に出席しました。</p> <p>5/26 ◇第1回 実施社協連絡会 (Zoom開催) 3/2 ◇第2回 実施社協連絡会 (Zoom開催)</p> <p>【65生活支援員情報交換会の開催】 生活支援員が日頃の活動について情報交換を行いました。</p> <p>12/19 ◇生活支援員情報交換会</p>	<p>187回</p> <p>(契約前) 12名</p> <p><昨年度> 1回(対面)</p>
<p>② 法人後見事業</p>	<p>【66法人後見の受任業務】 成年後見人等の担い手を法人として引き受け、権利擁護の推進を図りました。 また、成年後見制度に関する問い合わせ等に対応しました。</p> <p>随時 ◇累計受任件数=8件(現在の受任件数=4件) うち1件…後見類型、施設入所、高齢者 平成30年6月受任 うち1件…後見類型、施設入所、高齢者 令和元年12月受任、令和5年1月終了 うち1件…後見類型、在宅独居、高齢者 令和3年3月受任</p>	<p><昨年度> 累計受任 件数 8件</p>

	<p>うち1件…後見類型、施設入所、高齢者 令和3年7月受任</p> <p>うち1件…後見類型、施設入所、高齢者 令和4年3月受任</p> <p>随時 ◇後見業務（身上監護と財産管理） 福祉サービスの契約、支払い、金融機関手続き、 定期面会、関係者との情報共有や調整 通院同行（状況により）、緊急時対応 その他、必要な手続き等</p> <p>随時 ◇相談、問合せへの対応</p> <p>法人後見事業実施社協連絡会へ出席 県内の社協間で事業の取り組み状況の共有と報告、意見交換等のため開催 される実施社協連絡会に出席しました。</p> <p>7 / 1 2 ◇第1回 実施社協連絡会（Zoom開催） 2 / 2 ◇第2回 実施社協連絡会（Zoom開催）</p> <p>【67 法人後見事業審査会の開催】 法人後見事業審査会を開催し、業務の公平性及び専門性を確保し、事業の 適正化を図りました。</p> <p>7 / 1 2 ◇受任ケースの状況報告等 権利擁護ネットワーク連絡会の内容について</p> <p>1 2 / 7 ◇受任ケースの状況報告等 権利擁護ネットワーク連絡会の内容について</p> <p>3 / 2 8 ◇受任ケースの状況報告等</p>	
--	---	--

③ 権利擁護啓発事業

	<p>【68 権利擁護に係る専門職のネットワークづくり】 広く町民に向け開催した成年後見講座や福祉関係機関の連携と権利擁護 について考える場として、寒川町権利擁護ネットワーク連絡会の開催等、 擁護の意識高揚に繋がる事業を行いました。</p> <p>9 / 1 4 ◇第1回 寒川町権利擁護ネットワーク連絡会 内容：高齢者・障がいのある方の医療選択の場面に ついて学び合い、情報交換 (Zoomオンライン開催) 参加者 21名 社協、包括、行政、病院相談員、訪問介護事業所、 障がい者相談支援事業所、ケアマネ等多職種が参加</p> <p>2 / 1 ◇第2回 寒川町権利擁護ネットワーク連絡会 内容：社協の権利擁護事業について 事業所間の情報交換。(対面開催)</p>	<p><昨年度> 2回開催 参加者計23名</p>
--	---	---

<p>参加者 23名 社協、包括、行政、病院相談員、訪問介護事業所、障がい者相談支援事業所、ケアマネ等多職種が参加</p> <p>【69 成年後見講座】 成年後見制度をより多くの方に知ってもらうため講座を開催しました。 10/29 ◇初めてでもよくわかる、基本から学ぶ成年後見制度 参加者17名</p> <p>【70 成年後見相談の開催】 専門家による成年後見制度に関する相談を行い、制度の利用推進に努めました。 月1回 ◇相談員：コスモス成年後見サポートセンター会員 (祝日除く) 相談件数 14件</p> <p>【71 成年後見制度中核機関設置検討に向けた取り組み】 ◇中核機関に関する横浜家庭裁判所との打ち合せ 令和4年度は実施していません。 1/27 ◇藤沢簡易裁判所に横浜家庭裁判所出張所の併設を 求める協議会総会</p>	<p><昨年度> 参加者10名</p> <p><昨年度> 13件</p> <p><昨年度> 3回</p>
<p>(5) ボランティア事業</p>	
<p>① ボランティアセンター運営事業</p>	
<p>1階にボランティアセンターが移動して2年目になりました。 勝手が大きく変わりましたが、業務に支障ないよう職員一丸となって改善を行っています。 今年度は目標である「ボランティアの活躍」「地域活動応援ルームの活用」を意識した取り組みを行っています。 引き続きコロナ禍ではあるものの、ボランティア依頼も少しずつ増え始めているところではありますが、ボランティアの皆様には無理をせず活動していただくことを心掛けてきました。そのうえでボランティア登録をしたが、活動の機会がなく熱意が下がらぬよう、日頃から意識して、何気ない取り組みにもボランティアを巻き込み、活躍できるよう調整を行いました。 旧事務所であった3階のスペースを活用した「地域活動応援ルーム」もこれまでの課題点を職員間で共有しながら、ボランティアの活躍の場として、また部屋の利用を活性化させる企画などを定期的にも実施しました。</p> <p>【71 ボランティア活動の相談・斡旋・情報提供】</p>	

新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、新規ボランティアの登録が増えました。ただ、活動の場については保育や施設での活動を中心にまだ慎重な判断をしているところもあり、思うように希望の活動を紹介できない状態は続いています。

年度末からご披露系のボランティアの活動依頼も増え、今後徐々に施設等からの依頼も増えていくのではないかと考えられます。

(ボランティア相談)

ボランティアに関わる新規の相談

(送迎・サポート・その他の心配ごと相談 など) 51件

(個人登録ボランティア)

<昨年度>

ボランティアの登録、派遣調整

(全体)

随 時	◇ボランティア登録	141名	125名
	うち新規登録	22名	7名
随 時	◇ボランティア派遣 (のべ活動人数)		
	福祉有償運送事業の送迎ボランティア	236名	254名
	保育	35名	2名
	障がい者支援、イベント支援等	71名	55名
	施設手伝い	1,520名	1,043名
	ふれあい・いきいきサロン	122名	97名
	合 計	1,984名	1,451名

【72 ボランティアセンター活動PR】

ボランティア活動の情報発信、組織内の連携強化を図るとともに、より市民に身近なボランティア窓口として、運営を行った。

SNS等の情報発信、登録者状況

<昨年度>

随 時	◇LINE 友だち登録者数	153名	87名
	Twitter フォロワー数	153名	
随 時	◇ボランティアセンタースタッフ会議 (月1回)		
	◇ボランティア関連事業のパンフレットの作成、センター周辺の情報コーナー整備 (随時)		
	◇LINEによる登録ボランティアへの連絡、子サロン参加申込利用		
	◇新しくなったホームページによる情報提供 (スマホ対応、Twitter埋め込み)		

【73 ボランティア活動室・機材の貸出】

<昨年度>

<p>随時 ◇ 139件 ボランティアグループ活動支援を目的に活動室・3階相談室の貸し出しを行いました。</p> <p>随時 ◇活動室 281件 ◇3階相談室 37件</p> <p>(主な利用団体) 麦笛の会、グループあい、ピーターパンクラブ、さむかわcom、赤十字奉仕団、かたらいの会、サロンハートぽっぽ、寒川町ボランティア連絡協議会 等</p>	<p>(全体) 252件</p>
<p>② ボランティア講座事業</p>	
<p>【74 各種ボランティア講座、出前講座の開催】</p> <p>町内の福祉のボランティア活動について知ってもらうことを目的にボランティア学びあい講座として、子ども対象と大人対象の講座を開催しました。</p> <p>講座開催においては、多くのボランティアグループ・個人ボランティアのみなさんにご協力をいただきました。</p> <p>7/28 ◇ボランティア体験会開催（子ども向け講座） 福祉のボランティア活動を知ってもらうことを目的として、小学生・中学生・高校生を対象としたボランティア体験会を実施しました。 この活動により、福祉教育事業による学校での参加した生徒の意識が向上、福祉作文での取り組み姿勢、ボランティアグループへの加入など、大きな影響がある</p> <p>10/18 ◇ボランティア体験講座開催（大人向け講座） ～12/13 今後関わっていききたいボランティア活動を見つけボランティア登録やグループへの加入者が増えることを目的として開催しました。</p> <p>【第1回】10/18 ボランティア活動について／体験談</p> <p>【10/20～12/7 体験期間】</p>	<p><昨年度> 52名 5団体 2名</p> <p><昨年度> 全7回 参加延べ 94名 オンライン</p>

	<p>活動中のグループやサロンに入って見学・体験をしていただき、より具体的に活動内容がわかるような内容にしました。</p> <p>【第2回】 12/13</p> <p>ミニ講演会／まとめと登録会</p> <p>修了証授与 7名</p> <p>受講者のうち新規個人ボランティア登録 4名</p> <p>グループ加入 2名</p>	<p>延べ30名</p> <p>修了証授与 16名</p>
<p>③ ボランティア活動支援事業</p>	<p>【75 ボランティア交流会の開催】</p> <p>5/30 ◇運動会</p> <p>ボランティアセンターより前年度の報告を行った後3チームに分かれ運動会を行いました。 ラジオ体操、玉入れ、スプーンリレーなどの世代も無理なく取り組める種目を選びました。</p> <p>参加者 28名</p> <p>6/20 ◇認知症サポーター養成講座</p> <p>交流会の一環として、ボランティア登録者を対象に認知症サポーター養成講座を実施しました</p> <p>参加者 28名</p> <p>1/23 ◇ピラティス体験（冬の交流会）</p> <p>ボランティアセンターより上半期の報告を行った後ピラティスの体験を行いました。</p> <p>参加者 18名</p> <p>【76 個人登録ボランティア・サポーター意向調査の実施】</p> <p>2月に次年度の活動に対する意向調査を行いました。</p> <p>【77 ボランティア活動保険等の加入受付】</p> <p>安心してボランティア活動を行っていただくための活動保険の受付を行いました。</p> <p>随時 基本タイプ 573名</p> <p>天災タイプ 116名</p> <p>【78 ボランティアグループ立上げ支援・助成】</p> <p>新規立ち上げ支援なし</p>	<p><昨年度> 春は実施せず</p> <p><昨年度> 11月実施 19名</p> <p><昨年度> (全体) 535名 83名</p>

	<p>【79 地域活動応援ルームの運営】</p> <p>地域活動を行う個人・団体の作業、打ち合わせ、交流場所として部屋を整備、開放して地域活動の拠点として運営を行いました。</p> <p style="text-align: center;">利用者 269名</p> <p>◇おもちゃ病院の定期開催</p> <p>7月から月に1回、おもちゃ修理を行うボランティア3名に参加していただき、応援ルームでのおもちゃ病院の定期開催を開始しました。</p> <p>開催日 7/22・8/19・9/16・10/21・11/18 12/16・1/20・2/17・3/17</p> <p style="text-align: center;">◇活動ボランティア数 31名 ◇修理依頼おもちゃ数 70個</p>	<p><昨年度> (全体) 288名 <small>※お当番ボラ含む</small></p>
<p>④</p>	<p>サポートさむかわ運営事業</p>	
	<p>【80 サポートさむかわ（ボランティアによる生活支援）】</p> <p>サポーター（ボランティア）の「ちょっとしたお手伝い」により、在宅高齢者及び障がい者の生活支援とボランティア活動の場の提供をしました。</p> <p>なお、7月から9月については熱中症予防のため、屋外での作業は毎年お休みとしています。</p> <p>随 時</p> <p style="text-align: center;">◇利用者 125名 (過去に利用があり、居住確認ができていない人数)</p> <p style="text-align: center;">◇サポーター登録人数 47名</p> <p style="text-align: center;">◇利用件数 84件</p> <p style="text-align: center;">◇活動サポーター数(延べ) 99名</p>	<p><昨年度> 122名 41名 102件 115名</p>
<p>⑤</p>	<p>寒川町シニアげんきポイント事業</p>	
	<p>【81 シニアげんきポイント】</p> <p>説明会（登録会）の開催、窓口および電話での問い合わせ対応、受入施設と登録ボランティアの活動のマッチング、活動実績管理、町への報告、スタンプ数の集計とポイントへの変換及びポイント数に応じて町共通商品券の手配と配布、その他随時、町への報告等</p> <p>今年度もコロナの影響で多くの高齢者施設でボランティアの受入が無い状態が続きました(登録9施設のうち、4施設が受入なし)。施設側の受入れが乏しい中、3月に行った説明会では、9名の登録がありました。コロナ収束への期待から、地域活動への参加の意欲を感じます。</p> <p>◇施設訪問 3回</p> <p>◇説明会開催 1回</p>	<p><昨年度> 4回 1回</p>

◇事業登録者	15名	6名
◇活動者紹介	5名	2名
◇交流会開催	2回	1回

⑥ 災害ボランティアセンター事業

<p>【82 災害ボランティアセンター設置・運営訓練】 さむかわ災害ボランティアネットワーク、町総務課と連携し、寒川町災害ボランティアセンターの設置・運営訓練を予定していましたが、中止となりました。</p> <p style="text-align: center;">◇町総合防災訓練に参加予定 中止</p> <p>【83 さむかわ災害ボランティアネットワークや関係団体との連携】 毎年継続して行っている被災地支援活動として、町社協ボランティアバス派遣先である宮城県南三陸町から特産のわかめを取り寄せてボランティア、職員で購入。</p> <p>【84 災害対策マニュアルの作成、常時見直し】 町関係部局との情報の共有を行いました。</p> <p>2/9 ◇綾瀬市・座間市・神奈川県社会福祉協議会（市町村） 社協部会 災害ボランティアセンター共同訓練に参加 災害時支援ソフトKintone体験</p> <p>【85 被災地災害ボランティア情報の提供】 4月 ホームページ上にて災害情報のページを作成 随時 Twitterにて情報提供</p>	<p><昨年度> 中止</p>
---	---------------------------

⑦ ボランティア連絡協議会事業

<p>【86 寒川町ボランティア連絡協議会支援】 別記関係団体支援のとおり実施</p>	
---	--

(6) 福祉有償運送事業

① 福祉有償運送

<p>【87 福祉有償運送事業】 運転ボランティアの協力で、歩行困難な障がい者や高齢者の方々の通院や施設への入退所、養護学校への通学を支援しました。</p> <p>また、今年度はコロナワクチン接種のための通院での新規利用が増えました。</p> <p>随 時 ◇福祉有償運送での送迎</p> <p style="padding-left: 40px;">利用登録 36名</p> <p style="padding-left: 40px;">登録運転者数(指定講習会受講が条件) 30名</p> <p style="padding-left: 40px;">依頼件数 240件</p>	<p><昨年度> 34名 26名 263件</p>
--	---

	(内リフト車利用希望者のリフト対応 80件)	111件
	【88 運転ボランティア講習会受講支援】 8月に行われた大和市での運転者講習会をボランティアの方に受講していただきました。 受講者数 1名 1/28 ◇認定講習会を寒川町で実施 受講者数 7名	<昨年度> 3名
Ⅲ 地域包括支援センター事業		
(1) 地域包括支援センター事業		
① 地域包括支援センター事業		
	【89 総合相談支援】 【90 権利擁護】 【91 包括的・継続的ケアマネジメント支援】 【92 介護予防ケアマネジメント】 【93 認知症地域活動推進員活動】 【94 エンディングノート作成に係る情報提供等】 【95 地域ケア会議の開催】 【96 高齢者訪問相談】 【97 北部出張相談】 【98 その他広報・啓発等】 【99 南部相談室の運営】 ※別紙により報告	
Ⅳ 収益事業		
(1) 収益事業		
① 自動販売機設置事業		
	【100 自動販売機の設置】 随 時 ◇町民センター、南部文化福祉会館、北部文化福祉会館 さむかわ庭球場、健康管理センター 各1台 総合図書館 1台 計 332,420円	<昨年度> 344,006円
	【101 企業への自動販売機設置(災害ベンダー)】 随 時 ◇興全寺(宮山)に自販機を設置(伊藤園の自販機) 計 30,567円	47,744円
② 駐車場運営事業		
	【102 年始駐車場運営】 公共施設の一部を借用し、年始参拝客向けの駐車場運営を実施し、福祉事	

	業に活用するための財源確保を図ります。 1/1～3 ◇（仮称）健康福祉総合センター用地 計 1,215,000円 1/1～3 ◇健康管理センター 計 961,500円	<昨年度> 730,000円 690,000円
V 指定管理事業		
(1) 健康管理センター事業		
① 健康管理センター指定管理事業		
	<p>【指定管理申請】 指定管理者の指定申請を行い、10/26プレゼンテーション審査を受け、令和5年度の指定管理を受託しました。</p> <p>【106 運営管理】 ※別紙</p> <p>【107 維持管理】 ※別紙</p> <p>【108 自主事業(みんなの健康セミナー)】 健康管理センター指定管理事業者として町民の健康維持・増進を目的に健康に関する事業を開催 第1回 R4 9/8・15・22 体幹を整えよう[やさしいボディコンディショニング&リンパケア]延べ34名 第2回 R5 2/2・16・3/2 やさしいボディコンディショニング[ピラティスの動きで体幹を整えよう]延べ37名</p> <p>【109 避難訓練の実施】 寒川町健康管理センター防災訓練 ◇大規模地震を想定してR5 3/13 実施 職員10名 施設利用者4名</p> <p>【110 利用者満足度アンケートの実施】 アンケートのR4 12/1～R5 1/31実施 回収132名（男性19名 女性113名）</p>	<p><昨年度> 緊急事態宣言 まん延防止 のため中止</p> <p><昨年度> 職員10名</p> <p><昨年度> 53名</p>

関係団体事務事業報告

ボランティア連絡協議会
(通称：ボラ連)

4 / 27

◇第1回委員会 = 総会資料確認、新旧役員顔合わせ

5 / 14

◇総会 = 令和3年度決算、令和4年度予算の承認

- 7 / 2 7 ◇第2回委員会 = 今年度の活動について他
 ◇広報委員会 = 広報活動について他
 ◇研修委員会 = 会員研修会の内容について他
- 8 / 3 ◇研修委員会 = 会員研修会企画会議
- 9 / 2 8 ◇第3回委員会 = ふれあい福祉フェスティバルについて
 ◇研修委員会 = 進捗報告
- 10 / 8 ◇ふれあい福祉フェスティバル中止
 ◇広報委員会 = 「ふれあい福祉フェスティバル看板製作」
- 10 / 2 6 ◇委員会 = ふれあい福祉フェスティバル中止のため中止
- 12 / 7 ◇研修委員会 = 研修について
- 12 / 9 ◇研修委員会 = 研修会「映画上映会」
- 12 / 2 6 ◇研修委員会 = 研修について
- 2 / 8 ◇第4回委員会 = 研修会について
 ◇広報委員会 = 広報紙について
- 2 / 1 3 ◇研修委員会 = 研修会「ケアマネ会との交流研修会」
- 2 / 1 6 ◇広報委員会 = 広報紙について
- 3 / 2 9 ◇第5回委員会 = 総会について
 ◇広報委員会 = 広報紙について / 「ボランティアほほえみ」発行

随時：LINEを使った情報提供、報告、打ち合わせ
 対面による打合せ
 資料作成

共同募金会寒川町支会

(通称：共募)

コロナ禍での募金運動となったが、例年通り、自治会への募金の依頼を行った。
 街頭募金は、寒川駅での呼びかけを再開したが規模を縮小し、福祉事業所からの
 協力は呼びかけず、本会職員で行った。アメリカ三和での募金活動も職員のみで行った。
 職域募金は例年通り実施できた。
 ふれあい福祉フェスティバル、産業まつりでのイベント募金は中止となった。
 ベルマーレの試合会場でのイベント募金は、今年度は、県共募と平塚市支会で実施した。
 健康管理センター内に「赤い羽根共同募金」特設コーナーをつくり、
 募金運動期間中、いつでも募金ができるようにした。
 募金箱を町内の関係機関、スーパー等に全12か所設置した。

- 4 / 2 2 ◇県共同募金会 支会事務担当者会議 出席 (県社会福祉センター)
- 5月～ ◇県共同募金会 理事会へ寒川町支会長 (社協会長) 出席

7 / 2 2 ◇県共同募金会 支会事務担当者会議 出席（県社会福祉センター）

9 / 1 6 ◇自治連にて共同募金運動（赤い羽根募金、年末たすけあい募金）の依頼

1 0 / 1 ~ ◇共同募金運動スタート

1 0 / 3 ◇職域募金 =

●赤い羽根募金

町役場及び町関係施設（職員等） および J A より 合計108,382円

●年末たすけあい募金

町内施設より 合計1,295円

1 0 / 3 ◇街頭募金 =

●赤い羽根募金

アメリカ三和寒川店 3,804円

寒川駅北口・南口階段下 3,076円

《協力者》呼びかけ、参集、無し

◇戸別募金 =

●赤い羽根募金

目標額：2,911,480円 実績額：2,660,960円

●年末たすけあい募金

目標額：3,308,500円 実績額：2,828,120円

なお、年末たすけあい募金は、寄付金の募集は共同募金会市区町村支会が行い、配分金による事業は、市区町村社会福祉協議会が中心となって実施します。
上記【6 2 年末たすけあい募金の配分】 に記載。

10/1~ ◇学校募金 =

●赤い羽根募金

町内小中学校へ募金箱設置（1ヶ月間） 105,865円

◇イベント募金

●赤い羽根募金

社会福祉協議会子サロン 376円

今年度は、湘南ベルマーレ物品オークションの配分はありませんでした。

◇その他の募金 =

●赤い羽根募金

社協内募金箱設置（3ヶ月間） 17,043円

特設コーナーガチャガチャ 3,200円

町内関係施設12か所へ募金箱設置（1ヶ月） 7,928円

ネット募金 1,000円

10/21 共同募金支会事務局長合同会議

2/17

1/20

- ◇自治連にて共同募金運動（赤い羽根募金、年末たすけあい募金）のお礼
- ◇災害義援金の受付＝社協窓口募金箱 10,427円

福祉団体協議会

（通称：福団協）

- 4 / 1 7 ◇総会＝令和2年度事業報告・決算報告他 【会員のみで縮小開催】
- 5 / 1 2 ◇役員会
- 7 / 7 ◇役員会
- 8 / 2 9 ◇要望書提出「障がい児・者に対する行政施策の推進について」
- 9 / 1 ◇役員会
- 9 / 1 ◇役員会
- 10 / 6 ◇バス研修 国際福祉機器展見学
(バス代等は年末たすけあい募金配分金を受ける)
- 11 / 10 ◇役員会
- 11 / 19 ◇団体企画研修＝「聴覚障がい者について」「手話体験」
企画担当：寒川町聴覚障害者協会
- 12月3日～ ◇障害者週間および12月中、福団協の活動紹介展示
町健康管理センター1階廊下の壁に、各団体からの
作品、普及啓発パンフレット等を展示。
初めての取り組みだったが好評、次年度以降も継続する。
- 1 / 5 ◇役員会
- 3 / 2 ◇役員会
- 3 / 3 1 ◇広報誌「ふくだん通信」Vol.9発行 500部
- 随時 ◇町社協事業に参加協力
 - 小中学校での福祉体験授業のサポート
 - 民生委員児童委員・障がい者部会の研修サポート
- 随時 ◇会員研修、バス研修等の事業調整、打合せ
研修会、総会、役員会資料、「ふくだん通信」等の作成支援
町補助金の支援を受けるための書類の確認や町福祉課職員との
対応、連絡調整
他、メール、電話等での調整や連絡を行う。